

文調留才 180 号
昭和40年6月30日

東京日本語学校長殿

文部省調査局長
天城 敏



外国人留学生のための日本語教科書
編集の実施について (依頼)

標記のことについて、貴学下記職員のご協力をいただき
たいと思いますので、ご同意くださいますようお願いしま
す。このことについては、別途本人にも依頼しております。

なお、ご同意の際はお手数ながら別紙(3)同意書に必要事
項を記入し押印のうえご送付願います。

記

所 属

氏 名

東京日本語学校

浅野 鶴子

参考資料として

「英仏独の留学生に対する言語教育の実態報告書」

「海外における日本語教育施設一覧」

を同封します。

文 部 省

文調国第 60 号
昭和40年2月1日

東京日本語学校長 殿

文部省調査局長
天 城



日本語教育実施状況調査について（依頼）

日本語教育に関しては、かねてから格別のご尽力をいただいておりますが、このたび日本語教育の各機関における実施状況調査をいたします。

ついでには、貴校の浅野鶴子氏に下記によってご協力いただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

記

用 務	日本語教育実施状況調査
用務先	長崎大学
期 間	昭和40.2.11~16
旅 費	文部省負担

東京都千代田区霞ヶ関3丁目4番地
電話・霞ヶ関(581)4211~4246

本件についての照会・回答には必ず
上記書類番号・月日を付して下さい。

昭和40年2月3日

文部省調査局長

天城勲殿

文調国才60号による御依頼の件承諾いたします。

記

出張者	浅野鶴子
用務	日本語教育実施状況調査
用務先	長崎大学
期間	昭和40.2.11~16
旅費	文部省負担

東京日本語学校長

長沼直兄

文調国第169号

昭和40年12月2日

浅野鶴子殿

文部省調査局長

蒲生芳郎



外国人留学生のための辞典編集について(依頼)

このたび文部省では、外国人留学生のための基本語用例辞典の編集をすることになりました。ついては、その原稿を執筆していただきたいと思っておりますので、よろしくお願いをします。

なお、執筆のさいは、別紙執筆要領に基づいてください。

✓ 拓植大学	文京区茗荷台32	(941)0195	語学研究所
✓ 千葉大学	千葉市弥生町1-33	千葉 (51) 1111	留学生部 日語科 (内380)
✓ 東京外国語大学	北区西原4-51	(919) 6111	留学生課程 日語研究室 (内82)
東京日本語学校	渋谷区南平台38	(461) 4812	
✓ 東京日本語センター	港区芝公園21号地	(433) 3378	
✓ 日本研究センター	三鷹市大沢1500	(0422) 43-3131	
日本会話学院	新宿区四谷1-21	(351) 6171	
メルランド大学	府中市浅間町1003 651 E.N.F.A. 9	府中 2961	極東部 内 47217 47232
✓ 横浜日本語学院	横浜市中区常盤町1-7 MCA内	横浜 7061 (68) 7064	
✓ 早稲田大学	新宿区戸塚	(203) 4141	語学研究所 (内349)
ルネール教会	千代田区富士見町1-16	(261) 5266	ルネールセンター
✓ 国語研究所	北区箱付西小町	(900) 3111	
文部省	千代田区霞が関3-4	(581) 4246	国語科 留学生科
留学生会館	目黒区駒場町862	(407) 3521	財団法人日本国際教育協会

研修内容

§ 初級 7/25 - 7/30

- | | | | |
|------------------------------|---|-----|-----------------------------------|
| 1. 教授法について — 映画 (日本語教室) 使用 — | 25(A) 3-5 p.m.
26(X) 9-12 a.m. | 5時間 | (鈴木) |
| 2. 日本語の特質 | 25(A) 1-3 p.m. | 2 " | (林大) |
| 3. 音声と音声教育 (聴覚教育も含む) | | 4 " | (水谷) |
| 4. 視覚教育について | 26(X) 1-3 p.m.
27(C) 9-11 a.m.
26(X) 3-5 p.m. | 2 " | (木村) |
| 5. 話し方教育 | 28(F) 3-5 p.m. | 2 " | (佐藤) |
| 6. 日本語教育の実態 | 25(A) 11-12 a.m. | 1 " | (高橋) |
| 7. テストについて | 28(F) 9-12 a.m. | 3 " | (浅野) |
| 8. 語法上の諸問題 (概格的なもの) | 27(C) 1-3 p.m. | 2 " | (高橋) |
| 9. 助詞とその扱い方 | 28(F) 1-3 p.m. | 2 " | (阪田) |
| 10. 活用とその扱い方 | 29(金) 1-3 p.m. | 2 " | (小出) |
| 11. 語構成について | 29(金) 3-5 p.m. | 2 " | (倉持) |
| 12. 文字と文字教育 | 29(金) 9-12 a.m. | 3 " | (斎藤) |
| 13. 総括 (まとめ) — 閉講式 | 30(土) 11-12
1. 27(C) 3-5
2. 30(土) 9-11 | 3 " | 司会
(森)
(那須)
(和泉)
(園松) |
| (総括は中間において1回行なう。) | | | |
| 27(水) 11-12 自己紹介 | | 計 | 33時間 |

18, 19, 20, 21
三泊四日 八王子の大学セミナーハウス

§ 中級以上

中上級教育の諸問題

- | | |
|-----------------------|--------------|
| 1. カリキュラムと教科書の問題 (3冊) | (小出, 森) |
| 2. 話しことば教育の問題 | (水谷, 佐藤) |
| 3. 語法上の諸問題 | (西尾, 上野, 阪田) |
| 4. 読解教育の問題 | (倉田, 池田) |
| 5. 作文教育の問題 | (池尾, 伊藤) |
| 6. 漢字教育の問題 | (永保, 斎藤) |
| 総括 | (菅井, 木村, 椎名) |

総会

日時

九月十日(土)

場所

キリスト教大学

幹事員会 1:30-2:00

総会 2:00-2:30

講演会 3-5

懇親会 5-6:30 (会費) 500円

上記の中

講演会の内容

講演会

() 服部田 氏

() グラタ 氏

() 南 会

() 南 会

会誌に予告をいたします

講演会の内容

講演会の内容

講演会の内容

講演会の内容

講演会の内容

講演会の内容

講演会の内容

新刊

(木組)

(大組)

(水組)

(林組)

(雲組)

(日組)

(夜組)

(高組)

(日組)

(土組)

(林組)

(新刊)

(新刊)

(新刊)

(新刊)

印刷部 (重宝新本日) 定知

印刷部

印刷部

印刷部

印刷部

印刷部

印刷部

印刷部

印刷部

印刷部

印刷部

印刷部

印刷部

印刷部

印刷部

印刷部

重宝新本日

(重宝新本日) 重宝新本日

重宝新本日

重宝新本日

重宝新本日

重宝新本日

重宝新本日

重宝新本日

重宝新本日

重宝新本日

重宝新本日

重宝新本日

重宝新本日

重宝新本日

印刷部 借

3.17. 事業委員会協議事項

昭和41年度研修会について(3.11委員会の続き)

1. 現職者の会場

候補地

① 星野温泉 (7月中可能) $530 + 200 = 730$

② 戸隠 (1,000 - 2,000)

2. 期間

現職者の会場が

① 星野温泉の場合

現職者 7月18日(月)正午から 7月21日(木)正午まで

初心者 7月25日(月)午前中登録と開講式

7月25日(月)午後から 7月28日(木)まで授業

7月29日(金)午前中休講、合宿所へ移動

午後 授業

7月30日(土)1日中 授業

夜、討論と親睦会

7月31日(日)閉講式

② 戸隠の場合

3.11委員会の戸隠案とする。

3. 初心者向けの研修内容と時間配当

① 研修内容

。録画 または 16ミリ映画

これを研修会とははなれても、事業委員会でとっておく。

研修会では、これを利用する という形をとる。

。語法上の諸問題

学生の誤答例から、帰納的に結論を導いていく。

各論は 1. 助詞のあつかい

2. 敬語

3. 活用 とする。

。日本語教育の歴史と実態

(各日本語教育機関の紹介も含めて)

。展示 (書目をプリントしておく)

② 時間配当

。授業参観かそれにかわるもの 1時間

。日本語 2 "

。教授法について 2 "

。音声と音声教育 4 "

。視聴覚教育について 2 "

。語句の説明の仕方 2 "

。教材のあつかい 2 "

話しかたの解説

- 日本語教育の歴史と実態 1時間
 - テストについて 2 "
 - 語しかた教育 2 "
 - 語法上の諸問題 2 "
 - (各論で述べられること以外の)
助詞とのあつかい 2 "
 - (敬語 について) 関係 2 "
 - 活用 とのあつかい 2 "
 - 文字教育のあつかい 2 "
- と文字 計 30時間

4. 現職者向き研修内容と時間配当.

① 研修内容

- 視聴覚教育の諸問題
—教科書外の教材(テープその他)のあつかい—
- 中上級教育の諸問題
- 漢字教育の諸問題
- 作文教育の諸問題
- 教科書の問題
- 語法上の諸問題 (2単位)
- 総括.

教材作製の課題

② 時間配当

語法上の諸問題以外は各1単位すなわち1時間とする。(計24時間)

なお、研修会の成果をまとめて出版する。

研究会 X元

NO 41,3,24

事業委員会案				文部省案		備考
現職者 413.17				中級以上		17日 1500 x 3
7月	18日	月	正午から	星野温泉	正午から	+昼食(2~4回)
	19日	火				=4500+昼食代
	20日	水				ほか
	21日	木	正午まで		正午まで	懇親会費
						雑費
初心者				初級	宿泊なし	
7月	25日	月	南講	通修	南講	教育館
	26日	火		"	"	"
	27日	水		"	セター総合	青少年総合 750 x 3日
	28日	木		"	南講	センター = 2250円
	29日	金	補休講 (移動)	合宿		"
	30日	土		"	南講	"
	31日	日	南講	"		ほか 懇親会費
						雑費

冷房のきつさなど

- ① 参加費 セターの合宿費 なし
- ② テキスト 資料費 なし
- ③ 現職者の1日 1500円は 1泊2食
 青少年総合センターの1日 750円は 1泊3食

日評実行部長

1. ハワイの Drillmaster
Interviewer 12名
6名 apply 12名

2. 海外技術者派遣
1名
日本青年海外協会の
12名
10名

今年度および来年度の日本語教育について

41. 2. 4. 20名以内

国語課 (260名全)

海外の
外国人
大学の
41名以内
2名

昭和40年度

漢字並へ方

新しい辞書

厚さを二割へ方

目下組版中

四月出版(売品)

外国人のための漢字辞典の刊行

外国人のための専門用語辞典の刊行

外国人のための基本語用例辞典の編集

日本語教育研修会(御殿場)の開催 (留学生課)
国語課

日本語教科書の編集 (留学生課)

日本語教育研究会の開催

自然科学系

1,564語

漢字の引

組版中

非語

Malaynes, Indones

Malaynes へ

留学生課

1. 日本語

大正折印にて 1/2

もう一年折

2. 日本語教科書

一年折

6. 国以在(読解)

昭和41年度

外国人のための基本語用例辞典の編集

日本語教育研修会の開催 (60万)

日本語教科書の編集 (190万)

日本語教育研究会の開催

印刷は次年度

漢字の導入期
本文3頁 上113頁

日本語セラーのフォーラム

当館一ヶ年の日本語教育の歴史
参考文献の印刷
教材の再教育

四年

報
41

1126

1冊24冊 (冊中 900冊)

600冊 (10冊x60冊)

計3冊を要する

報
42

108冊

日本語教育を24-1

42巻人数 110名

◎ 研究員 修士課程

係長が一年延びている

2月4日の会合

Ⅵ

国際化課長より

1. ハワイの Drill master の件

interview 12名, applyしたものを6名

2. 海外技術者派遣

コロンボプラン (全科にわたって260名 (日本語教師10名))

日本青年海外協力隊 12名

3. 外務省より 海外の大学の日本語講座の協力

タイのタマサト大学に 男子1名 女子2名

マレーシア、インドネシア、フィリピンへも計画中

留学生課長より

1. 日本語センターの予算は入屋折衝の段階で今年度は見送り。(既存機関との関係が明らかでないため)

2. 日本語教科書は二種のための予算通達

6冊以上の読解のみの漢字導入期

本文3頁に対しドリル3頁という方針

国語課より

1. 漢字辞典 目下組版 (四月本版?)

2. 専門用語辞典 (自然科学1564語 組版中 非売品)

3. 基本用例辞典 (三年計画) 40年版 2500語の用例

41年版 1500語の追加と朝華字林の辞書、42年版付録印刷

昭和40年度
日本語教育研究会(第1回)
要 録

日 時 昭和41年2月4日(金)

午後2時~4時30分

場 所 国立教育会館語学研修室

出席者 浅野鶴子、麻生遠男、池田重、
和泉模久、木村宗男、芥藤修一、
鈴木忍、高橋一夫、戸川敬一、
林大、各委員

蒲生調査局長

三角国際文化課長

臼井留学生課長、川崎同課長補佐、

中城国語課長、服部同課長補佐、

ほか関係官

調査局長および国語課長が所用のため、代わって服部国語課長補佐から開会のあいさつがあった。ついで座長は、委員の賛成を得て服部課長補佐がつとめることになった。

まず、今年度の事業について、およそ次のような報告が行なわれた。

国際文化課関係(三角国際文化課長)

ハワイのイーストウエストセンターのドリルマスターについては、昨年推薦していたいた名簿をアメリカ大使館に送付したがだいぶ時間がたってから昨年末、ヤンさんが選考のため来日面接し、主としてハワイでの勉強の面、仕事の面の説明があったようだ。その後辞退者が出、6名が申請書を提出しており、その後の連絡はまだない。

外務省では、海外技術協力事業団による技術協力の一環としての日本語教師の海外派遣を行なっている。一つは、コロンボプランによるもので、6か国7名派遣されている。もう一つは、青年技術者派遣計画によるもので、4か国7名派遣されているが、これは本年度から日本青年海外協力隊にすりかえられ、日本語関係が昨年12月出発した。また、タイのタマサト大学に日本語講座が設けられ、教官1名、助手2名が派遣された。外務省では、41年度以降も日本語講座を拡充する予定で、東南アジア5か国に対する経費を計上している。このような状況であるから、日本語教授者は、今後ますます海外から要望されるものと予想される。

留学生課関係(白井留学生課長)

今年度は、日本語教育センター設立のための準備費がつき、新しく委員会を設けて、8月末に成案を得、大蔵省に要求した。

しかし、折衝の最終段階において認められなかったので今後、更に検討努力することになった。

また、教科書2種類の編集費がつき、7月に委員会を設けた。留学生が日本語を学習しはじめから6週間の後の10週間を対象として、読み方中心の読本を分担執筆中である。3月末までに具体的原案を作成し、来年度の新学期から使用してみよう印刷刊行する予定である。

(池田委員)教科書を2冊編集する予定であったが、入門編は文型その他に大きな問題があるので、6週間以後漢字を導入したところからの教科書を考えた。約10週間でこの教科書を使用するカリキュラムを考えた。現在執筆の段階にあり、4月に仮印刷して大学で使ってみよう、本印刷したいと思っている。

国語課関係(服部課長補佐)

外国人のための漢字辞典、同じく専門用語辞典が印刷の運びになっており、基本語用例辞典は目下執筆中である。格別のご協力に感謝する。

(友部事務官)漢字辞典の刊行が早くしたのは、原稿の分量が多かったため、執筆翻訳、校閲に予想外の時間がかかったことと昨年親字の配列のしかたに問題がでて、調整に時間がかかったためである。11月に原稿索引等を整え、必要な手続きを終わった。大蔵省印刷局で3月中に刊行の予定であるが、今の進行状況では若干おくれるようである。

専門用語辞典は、2年計画であり、自然科学系の数学、物理、化学、生物、地学の5教科から選んだ基本的な語を解説し、

このであり、目下民間の印刷所に印刷を依頼しており、今年度中に刊行の予定である。

基本語用例辞典は、3年計画であり、今年度は約2500語について、執筆を依頼している。

日本語教育研修会は、7月19日から25日までの1週間、御殿場の国立中央青年の家で開催。日本語教授者の交流に役だつたものと思われる。

次に委員から、辞典は需要が多いことと思われるので、手にはいりやすいように配慮されたいとの要望があった。そこで調査局長、国語課長が出席。局長あいさつの後、41年度の計画について各課から説明があった。

特に、国語課関係として来年度は、

- (1) 基本語用例辞典の校閲、見出し語の追加と執筆
- (2) 日本語教育研修会の開催
- (3) 教科書の印刷および続編の編集

などがある。

ほか、①海外からの日本語教授者派遣要求に対して1本化はできないか、②研究留学生に対する日本語教育のあり方、③海外の日本語教師の現職講習をわが国で実施する必要性。(フランス人の外国人フランス語教師の講習会が参考となる。)などについて意見が出た。

次回2月25日(金)には、研修会について協議することになった。

